

2. 2006年日本藻類学会第2回持ち回り評議員会

平成18年6月14日から28日に第2回持ち回り評議員会を開催し、次期会長候補者推薦のための投票を行った。会長候補者推薦に関する申し合わせに従い、得票者上位7名につき学会事務局から推薦承諾の確認を行った(申し合わせでは上位5名であるものの、5位は3名が同票数であったため7名に伺った)。しかしながら条件を満たす数の承諾者が得られなかったため、申し合わせ事項に従い、評議員会としての候補者の推薦を見送った。

3. その他の報告

(1)平成18年度科学研究費補助金研究成果公開促進費「学術定期刊行物」の「Phycological Research」への申請について

昨年日本学術振興会に申請した上記補助金研究成果公開促進費「学術定期刊行物」が採択され、平成18年度は200万円の助成が受けられることとなった。

学会・シンポジウム情報

2006年度秋季藻類シンポジウムのお知らせ

日本海藻協会主催、日本藻類学会・日本応用藻類学研究会共催 秋季藻類シンポジウム

「海藻と健康の展望—大学研究室からの報告」

日 時：2006年11月18日(土)

午前中 会社紹介

午後1時～5時 シンポジウム講演

場 所：東京海洋大学講義室(交流会：大学生協食堂)

講演予定(敬称略)

堀 貫治(広島大学大学院海洋生物資源化学研究室)

海藻資源からの糖鎖標的医薬素材・生化学素材・健康食品素材の開発

小川廣男(東京海洋大学大学院食品保全機能学講座食品物性学研究室)

現代の食事情における海藻の役割

田代有里(東京海洋大学大学院食品保全機能学講座食品物性学研究室)

食感とレオロジー

佐藤 実(東北大学大学院水産資源化学研究室)

海藻由来の健康機能性成分—タンパク質、脂質由来の健康機能性成分を中心にして—

2006年度「藻類談話会」のお知らせ

「藻類談話会」は藻類を研究材料とする幅広い分野の研究者の集まりで、西日本を中心に講演会や研究交流を行っています。今年度は以下の講演を企画しています。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：2006年11月11日(土) 13:00-17:00

場 所：神戸大学瀧川記念学術交流会館(神戸市灘区六甲台町1-1)

講演予定(敬称略)

菓子野康浩(兵庫県大院・生命理学)：

好冷性微細藻類の光環境応答機構

富谷朗子(海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター)：

シアノバクテリアの初期進化：分子系統学・古生物学的アプローチ

神谷充伸(福井県大・生物資源)：

紅藻の無性生殖化に関する進化生物学的研究

鯉坂哲朗(京都大院・地球環境学堂)・上井進也(神戸大・内海域)：

東シナ海の流れ藻(アカモク)と日本各地のアカモク・シダモク種群の形態変異について

参加費：500円(通信費など)。談話会終了後、学内の大学生協LANS店で懇親会が予定されています(会費：一般3,000円、学生1,500円)。

談話会および懇親会の参加希望者は10月30日(月)までに電子メールかファックスで下記の宛先へお申し込みください(当日参加も可)。また最新情報は下記ホームページに適宜、掲示しますのでご覧ください。

会場への道順：阪急電車「六甲」駅、JR「六甲道」駅、阪神電車「御影」駅から、市バス36系統「鶴甲団地」行きに乗り、「神大文・理・農学部前」下車。または阪急電車「六甲」駅から北へ徒歩約10分。

参加申込・問合先

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院

人間・環境学研究科 相関環境学専攻 幡野恭子

TEL: 075-753-6854 FAX: 075-753-6694

e-mail: kyokohat@bioh.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

2006年度藻類談話会ホームページ: <http://biotech.nikkeibp.co.jp/100HP/> より「バイオ・基礎医学関係者の皆のホームページ」→「学会・研究会」の項目をお選び下さい。